



8/27 **備えあればうれいなし 消費者まつり**
 「第44回消費者まつり」が、勤労者福祉センターで開かれました。今年のテーマは、「備えあればうれいなし！災害発生！知っておいたら役立つ」。当日は、開場前から約50人の方が列を作り、防災のパネルコーナーや栗山赤十字病院の真井睦子管理栄養士による災害時にも役立つポリ袋を使った調理実演などに訪れ、熱心に見聞きしていました。そのほか、会場には試食やオリジナルエコバック作り、健康チェックなどのコーナーが設けられ、駐車場ではフリーマーケットが行われました。



8/29 **地域の安全・安心を指して 町と栗山町内郵便局が「包括的連携に関する協定」を締結しました。**
 この協定には、地域の見守りや生活環境に関する情報提供など、幅広い分野で連携を図り、町民サービスの向上と地域社会の安全・安心の確保を目指すことなどが盛り込まれています。役場会議室で行われた締結式で、日本郵便株式会社の加藤武彦栗山郵便局長は「高齢者を中心に地域の安全・安心を守るための一助となることができれば幸いです」と決意を語りました。



9/2 **みんなで子育て支援を 子ども健やか育宣言記念事業**
 栗山町子ども健やか育宣言記念事業が、カルチャープラザ「Eki」で行われました。未来を担う子どもたちが健やかに育つように家庭・学校・行政が一体となって行動するため、個人、企業・団体、町が思いやりの気持ちを宣言する取り組みで、このたび町の宣言がまとまったことから記念事業を開催。オープニングで町内の子どもたちが元気な歌声を披露した後、椿原紀昭町長が「地域ぐるみで子育て支援を進め、子どもがキラキラ育つまちを目指す」ことを宣言しました。



9/10 **安全・安心なまちづくりのために 総合防災訓練**
 平成29年度の「栗山町総合防災訓練」が栗夢広場で行われました。今年は大雨による河川の氾濫と土砂災害が発生する恐れがあると想定し、町が設置した災害対策本部が、松風地区の一部と桜丘地域に避難勧告を発令。対象住民121人が避難訓練を行いました。このほか、消防団による放水訓練、栗山赤十字病院による救護訓練などを実施。参加者は訓練・講習を通して防災の意識を高めました。訓練後の講評で椿原紀昭町長は「今後も『安全・安心なまちづくり』を進めます」と話しました。

9/22 **おいしいお米を収穫 町内3小学校で稲刈り体験**
 町内3小学校で稲刈り体験学習が行われました。はじめに鎌の使い方や稲の刈り方を教わり、一人ひとり鎌を借りて作業開始。5月に自分たちの手で植えた「ゆめびりか」と「ななつぼし」を、歓声をあげながら刈り取りをしました。収穫したお米は、3校それぞれで開催予定の収穫祭でカレーライスにして振る舞われます。



栗山小学校5年生55人 (長尾康司さん圃場)



9/19 **涙の出ないタマネギお披露目 オニオン・2017ノヴァ**
 町のブランド玉ねぎ「さらさらレッド」と「スマイルボール」を広く知ってもらおうと「オニオン・2017ノヴァ」が、カルチャープラザ「Eki」で行われました。会場には食に関心を持つ方や関係者約80人が参加。長尾康司さんのほ場見学や、株式会社植物育種研究所の岡本大作代表取締役によるセミナーなどが行われました。その後涙の出ない新品種玉ねぎ「スマイルボール」を全員で試食。玉ねぎが苦手だという道上凛桜ちゃん(5歳)は「甘くておいしかった」と話していました。



9/22 **おいしいお米を収穫 町内3小学校で稲刈り体験**
 町内3小学校で稲刈り体験学習が行われました。はじめに鎌の使い方や稲の刈り方を教わり、一人ひとり鎌を借りて作業開始。5月に自分たちの手で植えた「ゆめびりか」と「ななつぼし」を、歓声をあげながら刈り取りをしました。収穫したお米は、3校それぞれで開催予定の収穫祭でカレーライスにして振る舞われます。



角田小学校全校児童57人 (有限会社粒里水田)



継立小学校3~6年生28人 (片山肇さん圃場)